

バスターミナル東京八重洲第1期エリアの整備が全建賞受賞
国内最大級の高速バスターミナル
～3地区の再開発事業における総合的な調整が評価されました～

令和5年6月28日に発表された「令和4年度全建賞」のインフラの部において、独立行政法人都市再生機構（以下「UR都市機構」）の「バスターミナル東京八重洲第1期エリアの整備」が受賞しました。

「全建賞」は、我が国の良質な社会資本整備の推進と建設技術の発展を促進するために設けられた歴史と伝統のある賞で、昭和28年の創設以来、日本の社会経済活動を支える根幹的なインフラ整備や国民ニーズに沿った幾多の取組みが表彰されてきました。

令和4年度全建賞受賞事業

- 受賞部門 : インフラ整備の事業又は施策の部（インフラの部） 一般枠^{※1} 都市部門
- 事業の名称 : バスターミナル東京八重洲第1期エリアの整備
～国内最大級の高速バスターミナル～

※1：災害復旧・復興以外の事業又は施策

<受賞式の様子>

今回、複数のブロックの再開発を総合的に調整・実施した点や行政に移行させる権限のないバス停について、UR都市機構が多岐にわたる関係者の参加する会議体を組織し説明を行うことで、バス停集約化に向けた関係者の一致した意見を得ることができた点等が評価され、受賞に至りました。

引き続き、第2期、第3期エリアの完成及びバスターミナルの更なる利便性向上に向け、取り組んでまいります。



【本件に関するお問合せ先】

UR都市機構 本社

都市基盤調整室 関連公共施設課

(電話) 045-650-0709

技術・コスト管理部 企画課

(電話) 045-650-0663

広報室 広報課

(電話) 045-650-0887

■受賞事業の概要

○ バスターミナル東京八重洲

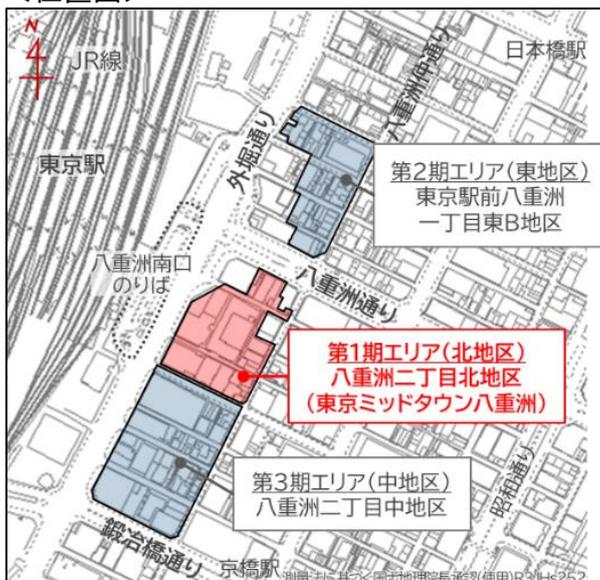
東京駅周辺では、約 1,200 便/日が発着する高速乗合バス等の停留所が周辺の道路上に散在し、鉄道との乗換えが不便であること、車両や歩行者の通行が妨げられていること等の課題があったため、同時期に計画された3地区の再開発事業の地下に一体的なバスターミナルを整備し、路上から発着する高速乗合バス等の集約を実施しています。

3地区の再開発事業のうち、第1期として八重洲二丁目北地区のバスターミナルが令和4年9月17日に開業し、全体約1,200便/日のうち、約550便/日が本バスターミナルへ移行しました。

現在、新規乗入便約50便/日と合わせて約600便/日の高速乗合バス等が発着しています。

第2期の完成予定は令和7年度、第3期の完成は令和10年度を予定しており、全体が完成すると国内最大級（20バース、約21,000㎡）の高速バスターミナルとなります。

<位置図>



<整備イメージ>



■関連リンク

バスターミナル東京八重洲

https://www.ur-net.go.jp/news/20221004_tohto_yaesu.html

UR都市機構が取り組む都市再生事業

<https://www.ur-net.go.jp/produce/index.html>

全建賞 HP

<http://www.zenken.com/hyusyou/hyousyou.html#zenkensyou>

UR都市機構の歩みは戦後の住宅不足解消に端を発しています。1955年から様々なステークホルダーとともに、時代時代の多様性に即し、安全・安心・快適なまちづくり・くらしづくりを通して、「人が輝く“まち”」の実現に貢献してまいりました。そしてこれからも、変化する社会課題に挑戦し続けることで皆さまにお応えし、「人が輝く“まち”」づくりに不可欠な存在でありたいと考えております。これまで培ってきた持続可能なまちづくりのノウハウをいかし、都市再生事業・賃貸住宅事業・災害復興支援・海外展開支援に全力で取り組んでまいります。

<https://www.ur-net.go.jp/>



UR 都市機構は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。